

令和7年度

自己点検・評価報告書

令和8年3月実施
学校法人 神村学園

神村学園専修学校

目次

1	学校の教育目標	P3
2	本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画	P3
3	評価項目の達成及び取組状況		
(1)	教育理念、目標	P4
(2)	学校運営	P5
(3)	教育活動	P6
(4)	学修成果	P7
(5)	学生支援	P8
(6)	教育環境	P9
(7)	学生の受け入れ募集	P9
(8)	財務	P10
(9)	法令の遵守	P10
(10)	社会貢献・地域貢献	P11
(11)	国際交流	P12
4	学校評価の具体的な目標や計画	P12

令和5年度 自己点検評価表

神村学園専修学校

1 学校の教育目標

実学による人間性豊かな人柄
神村学園では学力向上と人柄教育を両立させることを教育理念としている。専修学校では「基礎分野」「専門基礎分野」「専門分野」をより深く学び、実習においては技術・技能を磨いていなければならない。しかしながら免許や技能はあくまでも仕事上の条件であり、人間としてのモラル、基本的なマナーを根底に置き、専門職としての職務を果たせるようになることが目標である。看護師・理学療法士・作業療法士・保育士の免許が最大の目標ではなく、その資格・免許を通して社会に貢献できる人材育成を教育の目標としている。
(日本語学科)
日本語教育並びに建学の精神である人柄教育を通し、国際社会に貢献できる資質を備えた感性豊かな人材を育成する。

責任
自分の行動や感情に対して責任を持ち、すべてに対して誠実に対応できる人材の育成に努める。

2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

「アドミッション・ポリシー(入口)」、「カリキュラム・ポリシー(中身)」、「ディプロマ・ポリシー(出口)」についての基本の方針を策定・実践する
①国家試験全員合格 ②授業の中身の充実 ③オープンキャンパスの充実(募集活動の充実) ④環境美化に努める ⑤就職支援活動 ⑥専任教員養成講習会において看護学教育を深く学ぶ。 ⑦社会性、コミュニケーション、創造力の向上 ⑧留学生の大学進学率を上げる ⑨専門学校・大学合格、日本での就職等、学生個々の目標達成のためのカリキュラムの実施⑩社会性・コミュニケーション力・想像(創造)力を備えた人材の養成

3 評価項目の達成及び取組状況

適切・・・4, ほぼ適切・・・3, やや不満・・・2, 不適切・・・1

(1) 教育理念、目標		評価
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	3
2	学校における職業教育の特色は理解しているか	3
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色将来構想などが学生保護者等に周知されているか	3
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

①課題

<ul style="list-style-type: none"> ・人柄教育をどのように教育していくか、教員自体の共通理解がまだ十分でない ・学生の社会人となる自覚とそれに向かうための動機付け。社会性の育成 ・入学前後で学習内容や難易度についてギャップを感じる学生が多い。 ・医療系のニーズがなくなってきている。 ・時代に合わせた教育 ・学科としての明確なディプロマポリシーがない ・すぐに現場で使える実践力

②今後の改善方策

<ul style="list-style-type: none"> ・人柄教育を実践できるような職員教育 ・教員間のコミュニケーションを密にし、連携行っていくこと。 ・現在の神村学園ビジョンを引き続き継続していく ・オープンキャンパスの時点から学科での学習内容を感じてもらえるような体験授業や説明を行っていく。 ・世の中のニーズをとらえ、募集活動内容を考える ・グループワークを取り入れた授業作り ・学生が実践できる場を実習先だけでなく、学校でもできる場を増やしていく。しかし、教員にもゆとりがなく、学生も教科が多いためなかなか難しい。教員のゆとりがなければ、いい教育ができないため、教員の環境を変えていくことが大切 ・他校との差別化を図る ・演習科目の内容を充実 ・ディプロマポリシーの設定が必要
--

③特記事項

<ul style="list-style-type: none"> ・特になし

(2) 学校運営		評価
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	3
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	3
5	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3
7	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

①課題

・情報システム化について、タブレット教育を実践するにあたって自己研鑽に頼っており、教員同士の知識の差がある。・ネットワーク環境にトラブルが生じることがあり、業務に支障をきたすことがあり。・Outlookを使用した会議室予約システムが機能していない。・パソコンをもっと活用した授業への取り組み。・現場で働いてくださる教員を大事にすること。・事務作業が多い。・ICTへのリテラシーが非常に低い。一部の教員を除いて、学校全体としてICT教育では絶対的に必要となる著作権へのリテラシーが低い。著作権関連は容易に対外的な問題(訴訟、炎上)へと発展しやすいため早急な対策が必要となる。学生へデジタル教材の導入をしているため、著作権へのリテラシー教育、指導を個々の教員自身が行うことができるようになる必要がある。・システムを導入していただいたことで事務作業の効率は確かに向上した。しかし、依然として教員が担う事務作業量としては許容できる範囲を超えており、現場の負担は大きいと感じる。

②今後の改善方策

・職員に対する情報機器操作についての研修。・現在の取り組みを継続していくことが大切である。・教室のネットはLTEでよくなったが今のテレビだと字が小さすぎて見えない。・会議室予約システムを整備してほしい。予約が周知するようにしてほしい。・学生にいい教育ができるように教員へのゆとりが大事。雑用等を減らし、福利厚生をしっかりとる。全国に名が知れた学園であるため、このような福利厚生面もしっかりしていくべき。・ICT化の推進

③特記事項

特になし

(3) 教育活動		評価
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	3
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか	3
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	3
13	関連分野における先進的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	3
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

①課題

・新任教員に対する情報機器を用いた授業運営の方法などの研修が不足している ・規定に基づかないような事案も出ているために多様に対応できるようにしていく必要がある ・国家試験の点数に達しない学生において、本当に受けさせるべきか ・教員の知識・技術の向上のため、研修を受ける機会を増やしてほしい。事務作業も多く、受講できる時間的余裕がない。 ・外部研修や積極的な学会参加 ・学生への細かな対応が物理的、時間的に年々困難になっている。 ・研修を受けた後、教員間で意見交換をするまでの時間があまりないのが少し残念に思います。 ・日常業務と事務作業に追われており、研修を実施したり外部研修に参加したりする余裕がない状況である。 ・教育の質を高めるために継続的な研修は不可欠だが、現行の業務量ではその時間を確保することが難しい。 ・授業評価について、計画的に行っていない

②今後の改善方策

・研修の実施、もしくは、新任教員をサポートする教員によるマンツーマン指導 ・カリキュラムなどの見直しと修正追加が必要である ・明らかに力の足りない学生は一年おいたほうが合格率は上がる ・業務の整理 ・学会情報の開示等積極的な参加を促す ・ICTとの融合 ・研修の際の意見交換の時間がもう少し増えれば ・日本語学科に必要な事務担当者、生活指導担当者を配置することで、教員研修の時間を確保したい。研修は、教育内容の更新や指導力向上に不可欠であり、その充実が学生満足度の向上にも直結し、結果として、学科の魅力向上や学生募集の強化にもつながると考える。 ・講義、演習、実習について客観的指標を用いて実施を計画する

③特記事項

特になし

(4) 学修成果		評価
1	就職率の向上が図られているか	4
2	資格取得率の向上が図られているか	3
3	退学率の低減が図られているか	3
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

①課題

・奨学病院への就職がほぼ全員である特徴からいたしかたないと思うが、卒業後の進学についての情報提供が不足している ・メンタルで休む、退学するなどあるので、高校の先生と協力体制がとれないのだろうか
 ・課題や実習をやりきれない学生が増えてきている ・同窓会の積極的な活用 ・何らかの形で卒業生と面会する ・規定があるが対応に違いがある ・卒業生の進路や卒業後の状況を十分に把握できていない。

②今後の改善方策

・大学進学や学位授与機構の紹介など ・学生が多くの場で活躍できるようにしていく必要がある ・対応策がいつも後手に回るので、事前にわかっていたら早く対応できる ・保護者を含めた研修会の企画 ・就職先への訪問を時々行う。 ・規定の見直しと規定の遵守 ・手厚いサポート ・専任の事務担当者や生活指導担当者を配置し、卒業生データの管理・追跡を継続的に行える体制を整える。

③特記事項

特になし

(5) 学生支援		評価
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3
2	学生相談に関する体制は整備されているか	3
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
6	学生の生活環境への支援は行われているか	3
7	保護者と適切に連携しているか	3
8	卒業生への支援体制はあるか	3
9	社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

①課題

・学生の生活管理、保護者との連携など、担任がほぼ行っているが、担任業務以外にも実習などで学校不在の場合も多く、担任の負担が大きい ・設備の整理ができてない ・学生の生活環境であるが、授業中にアリーナの足音・振動がひどく、授業中声が届きにくい。 ・トイレを整備してほしい。 ・学生の就職支援、相談、健康管理等すべて学科の職員が行っている。精神的な支援を必要とする学生も増えてきており、職員が疲弊してしまう。 ・教える内容に齟齬がある(日誌・指導案の書き方等) ・教育設備が古い ・時代に合わせた教育内容 卒業後のサポート

②今後の改善方策

・担任業務以外の業務調整(実習指導を少なくするなどの配慮) ・学生が今後も過ごしやすい環境や学習環境を整えていくことが大切である 机など重いく古い、教室も古く汚いので新しい設備の導入を ・短大や大学みたいに学生課があるとありがたい。 ・統一した指導の実施 ・教育内容の改革 ・卒業後の連絡手段(ホームページ等)の活用

③特記事項

特になし

(6) 教育環境		評価
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を設備しているか	3
3	防災に対する体制は整備されているか	3

①課題

・学園全体の防災訓練が不足している。(立地柄の地震による津波、原発事故への対応など)
 ・タコ足配線が多々みられる ・授業で使用するモニターが教室に対して小さい。 ・研修会を企画 ・新しい設備の設置
 ・非常勤の先生も使用できる、インターネット接続のできるPCまたはタブレットが必要。 ・古くなり使用できない機材や、故障、破損されたまま修理がなされない状態の機材がある ・日中災害が発生した際、学園全体が避難行動をとることがイメージされているのか少し気になっています。 ・これまで身体に不自由のある学生が在籍していなかったため、日常の学校生活に潜む不便さに気づく機会がなかった。しかし、車椅子を利用する学生を受け入れたことで、移動や教室設備、生活動線など、学内環境にさまざまな改善の余地があることを実感した。

②今後の改善方策

・上記、防災チームを作り対応する
 ・教室に備え付けのプロジェクターやスクリーンがほしい
 ・メディアツールの充実化
 ・避難訓練を学園全体で行ってもいいのでは
 ・生活指導担当者の配置により個別支援体制を整える。

③特記事項

教室のプロジェクターの修理を昨年より依頼し、半年ほど経過しているが対応が遅れている。

(7) 学生の受け入れ募集		評価
1	学生募集活動は、適正に行われているか	3
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
3	学納金は妥当なものとなっているか	3

①課題

・オープンキャンパス開催に追われ、内容が薄い。開催回数を減らし、中身の充実をはかるべき。
 ・SNSなどを利用する
 ・学科の魅力発信
 ・対面での募集活動は大変意義のある事だと思いますが、学校の情報を伝える媒体のバランス(紙かデジタルか)に検討の余地があるのではないかと思います。

②今後の改善方策

・オープンキャンパス回数を減らし、減らした回数で対策会議や準備にあてる
 ・学校訪問だけでなく、SNSを利用した募集を行う。
 ・公式LINEを使用した情報発信
 ・分厚いパンフレットより、使い勝手の良いノベルティグッズにQRコードを付けた方が、訴求力が高いように思います。

③特記事項

・プロの業者による清掃やメンテナンスを年に1～2回は入れたほうがいい。職員や学生任せの素人作業の限界を感じる(エアコン)

適切・・・4, ほぼ適切・・・3, やや不満・・・2, 不適切・・・1

(8)財務		評価
1	中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか	3
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
3	財務について会計監査が適正に行われているか	3
4	財務情報公開の体制整備はできているか	3

①課題

・情報開示がわかりづらい ・各科に充てられた予算が明確でない ・学級会計業務が煩雑

②今後の改善方策

・財務や会計の情報公開方法の周知

③特記事項

・特になし

適切・・・4, ほぼ適切・・・3, やや不満・・・2, 不適切・・・1

(9)法令等の遵守		評価
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3
2	個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	3
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
4	自己評価結果を公開しているか	3

①課題

・どこに公開されているかについて自分自身が把握できていません。

②今後の改善方策

・周知される情報により気を配るようにしなければと思っています。

③特記事項

(10) 社会貢献・地域貢献		評価
1	学校教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	3

①課題

・組織としては積極的に貢献している実感がありますが、参加生徒へのフィードバックがまだ少ないように思います。

②今後の改善方策

・どのようなことをしてるか目につくようにする
 ・実施機会を増やす

③特記事項

・ころばん体操だけでなく、他の参加できる活動があれば積極的に取り組んでいきたい
 ・いちき串木野市の転倒予防教室へ講師として教員が定期的に参加している。

(11) 国際交流		評価
1	留学生の受入・派遣について戦略を持って行っているか	3
2	留学生の受入・派遣、在籍管理等において適正な手続き等が取られているか	3
3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	3
4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3

①課題

- ・特に生活指導面がやや人手不足。
- ・留学生の学習成果向上により注力しなければならないと思っています。

②今後の改善方策

- ・国際交流の情報周知
- ・わかるように職員に説明する機会をつくる
- ・教育業務と生活指導業務、入管手続きなどの事務作業業務のバランスについて、教員間で認識を共有していけるといいと思います。

③特記事項

いちき串木野市や日置市、鹿児島市のイベントやボランティアに多く参加し、外部とのつながりを広げることができた一年となった。

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・スポーツ活動など全国的に周知されているが、学園全体の学習面での知名度をあげブランド力強化をねらう必要がある。
- ・いろいろなことを考えながら学生が過ごしやすい環境や学習環境を整えることができていると思います。引き続き、神村ビジョンを活用しながら日々取り組んでいくことが大切だと思います。
- ・実施、結果、反省を踏まえ、次回に活用する流れを強化し、目標の設定を明確にすること